

新庄市道の駅基本構想（案）概要版

1. 道の駅とは

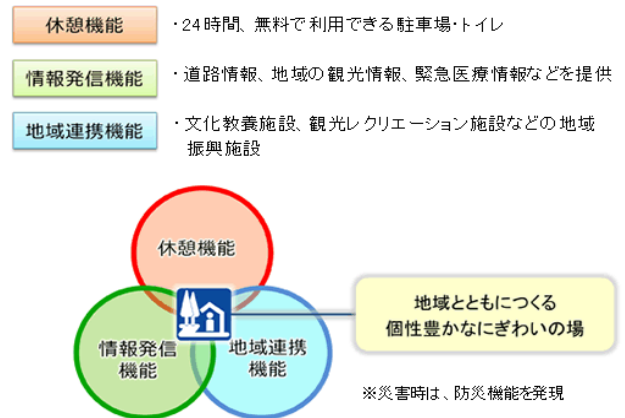
目的	道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供、地域振興に寄与
整備方法	一体型：市町村長等と道路管理者（駐車場、トイレ等の一部）で整備 単独型：市町村が全てを整備
登録要件等	(1) 休憩機能 (2) 情報発信機能 (3) 地域連携機能 (図 1、2)
設置者	市町村又は公益法人等

(図 1) 道の駅の施設配置



出典：国土交通省 HP

(図 2) 「道の駅」の機能と基本コンセプト



出典：国土交通省 HP

◆道の駅登録状況

全国の道の駅の登録数 ※平成 29 年 11 月現在
1,134 駅（うち山形県内：21 駅、**最上地域：1 駅**）

◆山形県の観光地類型別観光客入込数

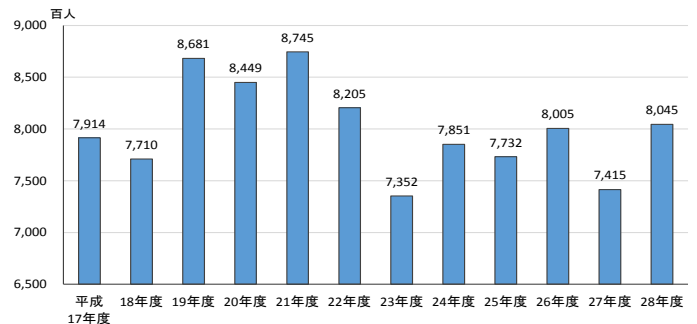
(カッコ内は前年比)

1 位 温泉 22.8% (▲1%)
2 位 名所・旧跡 17.9% (▲0.9%)
3 位 道の駅 14.7% (+0.7%)

◆新庄市の観光客入込数

東日本大震災前（H22 以前）までの水準まで戻らず

■新庄市の観光客入込数



資料：平成 28 年度山形県観光者数調査

2. 新庄市が抱える課題に対しての道の駅の可能性

■地域産業、地域経済の活性化

- ・道の駅を拠点とした交流人口の増加
- ・観光商品及びサービスの多様化による観光産業の振興
- ・観光産業の振興による直接的及び間接的の就業機会の拡大
- ・市場拡大による創業支援への貢献
- ・最上地域連携による地域全体での経済活性化

■生活環境の利便性、安全・安心の向上

- ・道の駅への公共交通機関（バス）の乗り入れによる交通弱者対策
- ・医療・福祉機能付加によるサービスの充実（子育て支援、高齢者健康増進等）
- ・防災拠点機能の付加による防災機能の向上

■道路通行者の利便性向上

3. 基本コンセプト（案）と想定される導入機能（施設）

■基本コンセプト



ヒトをつむぐ

新庄に関わる全ての人がつながることで、今までの新庄にはない新しい地域の形を実現できる場

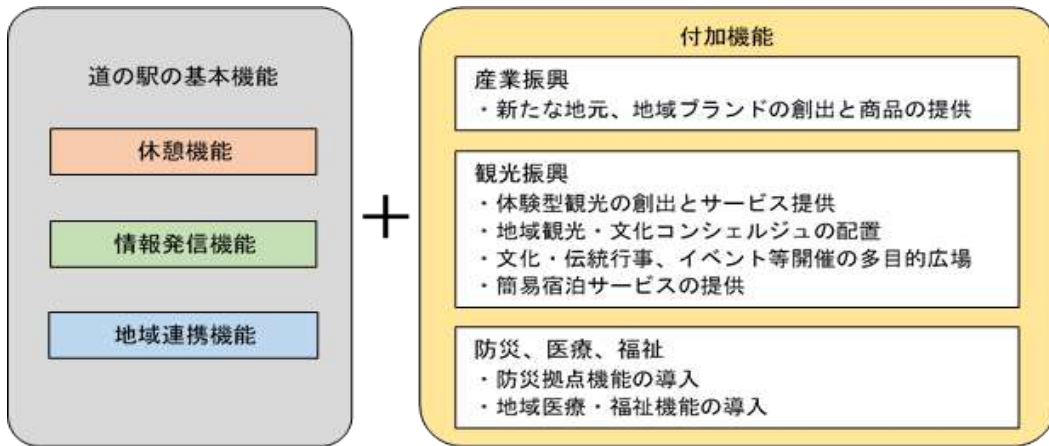
シゲンをつむぐ

新庄の資源を掘り起こし、今のニーズに対応した形で、市内外の多くの皆さんに好きになってもらえるきっかけを作

ミライをつむぐ

将来の新庄を担う子供たちや若者が新庄への誇りや未来への可能性を見出せる場

■想定される導入機能（施設）

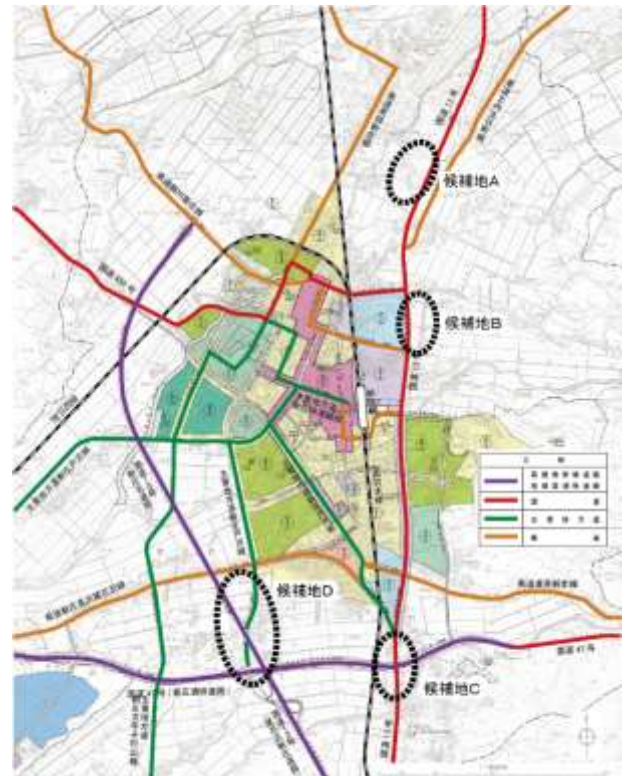


4. 候補地の選定と立地環境評価

平成 28 年度に市内での道の駅整備に関する検討会にて検討された候補地を基本としながら、路線の沿道条件や用地確保の可能性等を考慮し、候補地A～Dの4地区を道の駅整備の候補地として抽出しました。

候補地	場所	選定理由
A	エコロジーガーデン周辺 (新庄市五日町地内)	国重要文化財であるエコロジーガーデン等の既存施設の活用が見込めるため
B	県立新庄病院建設予定地 周辺(新庄市金沢地内)	地域の医療拠点である県立新庄病院と連携した道の駅づくりができるため
C	新庄IC周辺① (新庄市鳥越地内)	国道13号と国道47号の結節点であることから多くの観光客が見込めるため
D	新庄IC周辺② (新庄市松本地内)	東北中央自動車道と新庄酒田道路との結節点であることから多くの観光客が見込めるため

■選定候補地の位置



◆候補地C（新庄IC周辺①）について

- △想定される必要面積（約2ha）の確保が難しい
- △周辺環境が良くない（検討委員会での意見）



A、B、Dの3つの候補地についてさらに具体的に検討

5. 各候補地の整備検討イメージ

候補地 A, B, D それぞれについての整備検討イメージ及び各候補地に道の駅を整備した場合の魅力ポイントと留意事項等について、道の駅外部検討委員会での意見等を参考にしながら検討しました。

■ 候補地 A (エコロジーガーデン周辺)

【既存施設を活用した環境配慮型の道の駅】

エコロジーガーデンの持つ既存機能のさらなる充実を図ることにより、景観、文化、歴史等の魅力を高めながら、「道の駅」という新たな機能を加えることで、エコロジーガーデンの持つポテンシャルを最大限活かします。

(魅力ポイント)

- エコロジーガーデンの活用による施設整備コスト軽減の可能性が高い
- 景観、文化、歴史の面で、新庄市の代表的な観光スポットとなり得る可能性が大きい
- 実際に活動している人材も多く、運営面でも期待できる

(留意事項等)

- △ 既存施設活用団体との調整が必要



■ 候補地 B (県立新庄病院予定地周辺)

【医療×防災×福祉の地域課題解決へ導く道の駅】

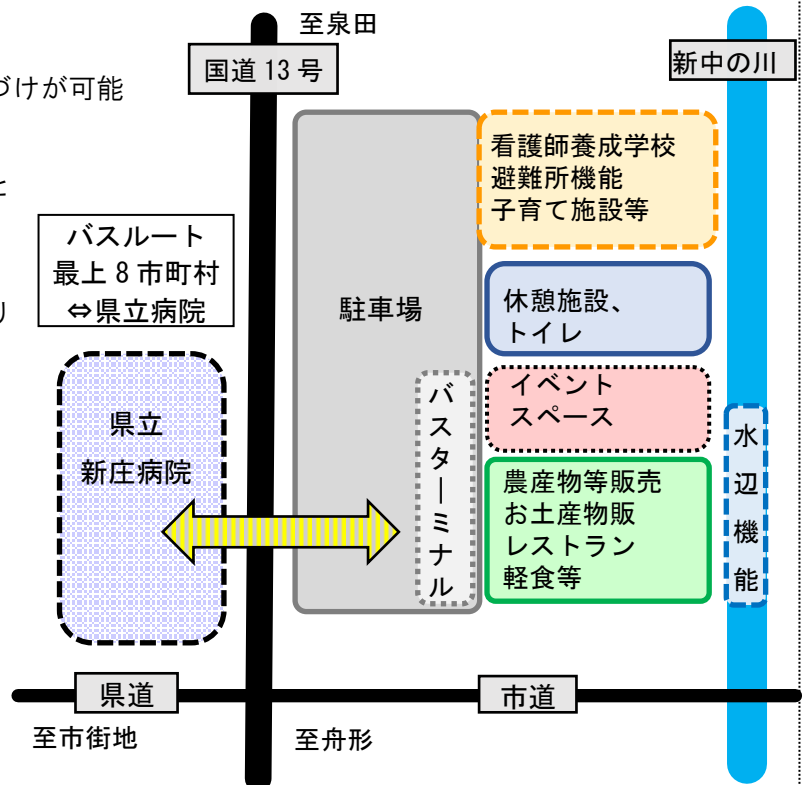
医療・防災・福祉を核とした機能（看護学校、防災拠点、バスターミナル等）を整備することで、将来の新庄の暮らしを支えつつ、地域のコミュニティ整備や世代間交流ができるような空間を作り出します。

(魅力ポイント)

- 県立病院との併設により防災拠点としての位置づけが可能
- 県立病院整備により、入退院患者、外来患者、見舞いなどの集客性が期待できる
- 看護学校設置を考えれば、道の駅と併設することでの相乗効果あり
- バスターミナルを設けることで、「最上 8 市町村 → 県立病院 → 道の駅」の流れをつくり、買い物難民対策や高齢者の健康増進への効果あり
- 東山周辺（体育館、野球場、陸上競技場等）利用者の飲食需要が見込める可能性あり
- 新庄 I C、新庄北 I C を活用してツアー客を見込める

(留意事項等)

- △ 商業地にあり土地購入コストが 3 候補地の中では一番高い
- △ 新たな沿道開発することにより、中心市街地のコンパクト化に逆行
- △ 土日や冬期間の混雑に加え、施設整備のためには交通整理の整備が不可欠



■候補地D（新庄IC付近）

【最上地域のゲートウェイで新たな魅力づくりができる道の駅】

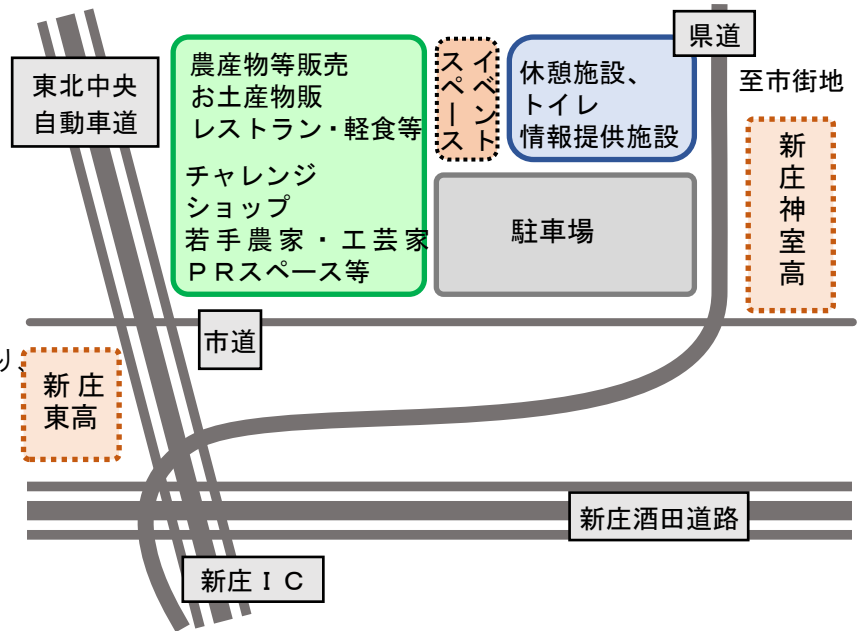
若手農家や工芸家が自由に農産物や作品を出品することや周辺の2つの市内高校や農林大学校と連携することで、若者が自由にチャレンジできるような空間・機能を提供します。様々なイベントやサービスを行うことで、継続的な賑わいの創出を行うとともに新庄の未来を担う人材育成を行います。

（魅力ポイント）

- 新庄IC（高速道のJCT）に近く単にSA・PAの機能としては最適
- 農林大学校、新庄神室産業高校、新庄東高校とのコラボレーションによる若者視点、若者の活躍の場を提供

（留意事項等）

- △市街地からは離れているため、地域の商業地域としては難あり
- △新庄用水ポンプ場や高圧の鉄塔などがあり土地利用に制限が加わる

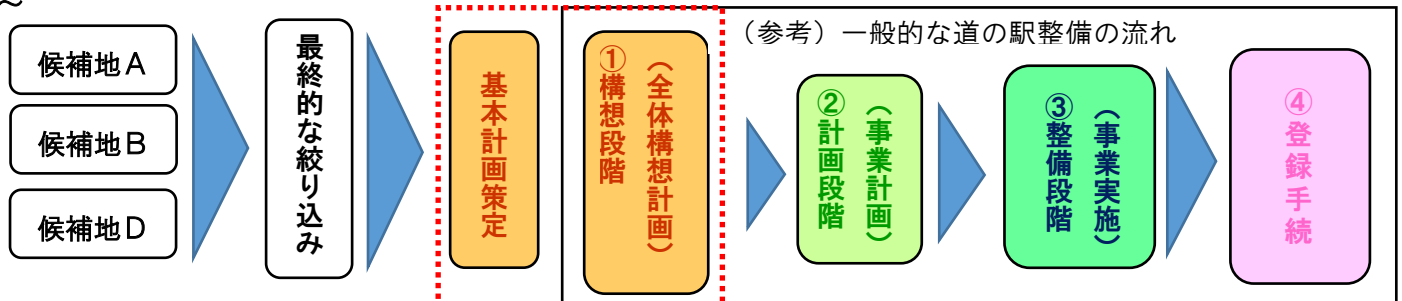


6. 事業スケジュール

基本構想 30P

今後は、上記の3候補地について本基本構想での分析・結果を基に、総合的な視点から候補地の絞り込みを行います。

H30～



7. 新庄市道の駅外部検討委員会

基本構想 31P

本基本構想を策定するにあたり、市内関係団体から広く意見を聴くため、新庄市道の駅外部検討委員会を設置し、以下の日程で様々な検討・意見をいただきながら、策定を進めていきました。

①	H29 7/21	・新庄市道の駅外部検討委員会任命式 ・道の駅の概要及び最近の動向について ・新庄市道の駅外部検討委員会について	④	12/8	・第3回の外部視察での感想 ・立地環境評価表（案）の検討について ・道の駅のコンセプトと導入機能の検討について
②	9/29	・新庄市道の駅の検討について （立地場所）	⑤	H30 2/20	・新庄市道の駅基本構想（素案）の検討について
③	10/20	・外部視察（3カ所）（1）道の駅国見あつかしの郷（福島県伊達郡国見町）、（2）秋保ヴィレッジ（仙台市青葉区）（3）錦ヶ丘ヒルサイドモール（仙台市青葉区）			

新庄市道の駅基本構想（案）概要版 平成30年3月

編集・発行 新庄市 都市整備課 都市計画室 〒996-8501 山形県新庄市沖の町10番37号

TEL 0233-22-2111（内528）E-mail toshikeikaku@city.shinjo.yamagata.jp